



生協ひろしま

# CSR Report 2015



2014年度の  
事業・社会・環境についての報告書

## 《生協とは》

生協はくらしを豊かにしたいという組合員の願いを実現するためにみんなが話しあい、力を合わせて商品を開発し、商品・サービスを通じた暮らしの見直しに取り組む消費者団体の協同組織です。一人ひとり弱い立場の私たちがみんな力で合わせれば大きな力を生み出すことができます。みんなの協力で造られている生協は、組合員自身が出資し商品を利用し、自分（組合員）たちの手ですすめていく組織です。

## 《生協ひろしま理念》

私たちは、協同の力で、より豊かなくらしの創造と平和な社会づくりに貢献します。

### 編集方針

2006年、生協ひろしまはCSR経営を進めることを宣言しました。事業と組合員活動から成り立つ生協ひろしまのCSR活動（社会的責任）をステークホルダーの皆様へ情報開示します。この報告書は生協ひろしまの基本理念に則して推進している事業や活動、その進捗状況を報告することを基本とします。

### 報告対象期間

2014年度の主な活動を中心にまとめています。補足的に当該年度以前の活動や実績、将来の目標も報告しています。事業概要は2015年3月31日現在のものです。

### 報告対象範囲

生協ひろしまとその関連事業所、子会社を含みます。

### ホームページの情報開示について

本レポートは生協ひろしまホームページにおいても公開しています。

[http://www.hiroshima.coop/about/csr\\_report/index.html](http://www.hiroshima.coop/about/csr_report/index.html)

## 「CSR Report」の発行にあたって

生協ひろしま 専務理事 **横山 弘成**



### 生協の役割と期待が高まっています

2014年8月20日未明からの豪雨により広島市安佐北区、安佐南区を中心に大規模な土砂災害が発生し、組合員とご家族23名を含む74名の方が犠牲となる大災害となりました。お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。生協ひろしま各店舗では災害発生の日から募金活動を開始し、行政からの求めに応じ、支援物資の提供を行いました。また広島市社会福祉協議会と連携し被災地に災害ボランティアを派遣したり、共済加入者へのお見舞い訪問活動を行うなど、復興支援活動に取り組みました。被災地は徐々に復旧してきていますが、地域や行政と連携しながら継続的な支援を行ってまいります。

東日本大震災から4年、現在も2,576人の方が行方不明となり、仮設住宅では8万人の方が不便な生活を強いられています。特に原発事故の影響が続く福島では除染の遅れや、中間埋蔵施設の建設の問題など、深刻な問題が山積みになった状態が続いています。復興を進める上で、私たちにできることは忘れない、風化させないことです。生協ひろしまでは被災地3県の生協と連携し、仮設住宅へ「広島お好み焼き隊」を派遣したり、ふれあいサロンに「広島銘菓」を送る活動や組合員対象の学習会を開催しています。今後も被災者に寄り添った支援活動と情報発信を継続してまいります。

生協は「平和とよりよき生活のために」という理念のもと、戦争も核兵器もない世界を目指し組合員と共に平和活動を行っています。被爆70年を迎え、被爆者の平均年齢は80才となり、被爆の実相をどう継承していくかが、喫緊の課題となっています。生協ひろしまでは、子ども同士の平和交流やピースナイターの開催など次世代への継承活動に力を入れています。同時に地域での平和学習も開催し、平和について身近に考えていただける場づくりを行っています。

環境問題では持続可能なエネルギーの構築にむけ、太陽光をはじめ、木質バイオマスの熱利用など地域にある資源の有効活用を目指す自治体の協議会に参加し意見交換を行っています。また、牛乳パック、発砲トレイ、チラシ回収など組合員へのリサイクル活動参加を推進しています。

少子高齢化や労働人口の減少、社会保障制度の先行きや低所得層の増加、不安定な世界情勢など、私たちの暮らしを取り巻く環境は厳しさを増しています。私たちは、生協ひろしまの理念である「協同の力で、より豊かなくらしの創造と平和な社会づくり」の実現に向け、よりいっそう地域、行政と連携し、地域社会になくてはならない存在となるよう取り組んでまいります。

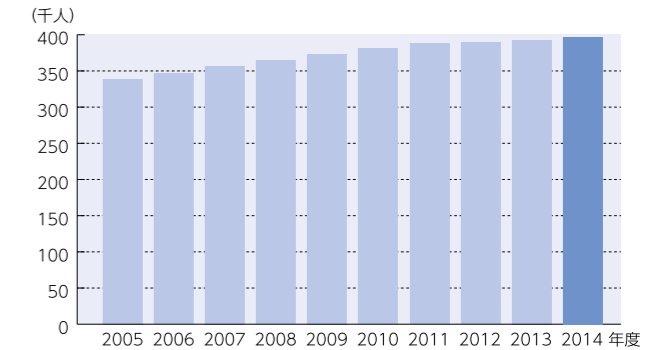
本レポートは1年間の諸活動をまとめて紹介しています。多くの方にご高覧いただき、率直なご意見やご助言をいただければ幸いです。

2015年6月

## 《生協ひろしまの事業概要》

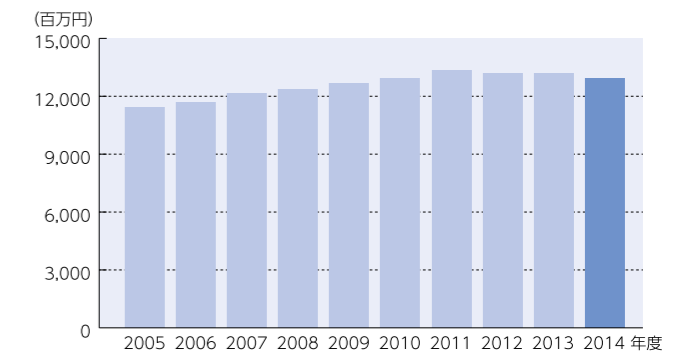
### 組合員の推移

年度	組合員数	前年比増減比(%)	指数 2005年度=100
2005年度	338,952	1.8	100
2006年度	346,498	2.2	102
2007年度	356,855	3.0	105
2008年度	364,116	2.0	107
2009年度	373,475	2.6	110
2010年度	380,991	2.0	112
2011年度	386,071	1.3	114
2012年度	389,326	0.8	115
2013年度	392,615	0.8	116
2014年度	398,396	1.5	118



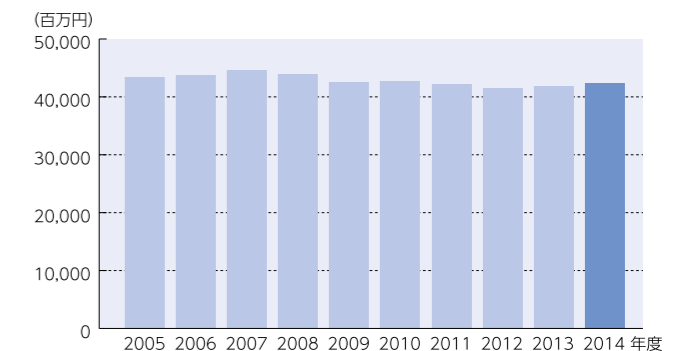
### 出資金の推移

年度	出資金(単位=千円)	前年比増減比(%)	指数 2005年度=100
2005年度	11,409,966	3.5	100
2006年度	11,701,889	2.6	103
2007年度	12,133,909	3.7	106
2008年度	12,334,092	1.6	108
2009年度	12,668,309	2.7	111
2010年度	12,927,589	2.0	113
2011年度	13,320,088	3.0	117
2012年度	13,202,672	-0.9	116
2013年度	13,178,925	-0.2	116
2014年度	13,058,176	-0.9	114



### 供給高の推移

年度	出資金(単位=千円)	前年比増減比(%)	指数 2005年度=100
2005年度	43,417,857	-1.1	100
2006年度	43,789,025	0.9	101
2007年度	44,685,865	2.0	103
2008年度	43,863,419	-1.8	101
2009年度	42,581,654	-2.9	98
2010年度	42,756,832	0.4	98
2011年度	42,268,904	-1.1	97
2012年度	41,505,005	-1.8	96
2013年度	41,910,577	1.0	97
2014年度	42,165,098	0.6	97



### 組織概要 (2015年3月31日現在)

名称	生活協同組合ひろしま	出資金額	130億5,817万円
創立	1984年10月(昭和59年)	供給高	421億6,509万円 (宅配事業 328億7,527万円) (店舗事業 92億8,982万円)
本部	広島市西区草津港2-8-42	福祉事業収入	12億962万円
役員(常勤)	理事長 小泉 信司 (2015年6月9日就任) 専務理事 横山 弘成 常務理事 宗本 干城	その他事業収入	14億7,309万円
活動エリア	広島県全域(定款)	従業者数	総合職員 602人 専任職員 285人 パートナー職員 776人 福祉専門職員 172人
組合員数	398,396名		
県内組織率	32.3%		



## 環境

生協ひろしまは食の安全・安心を求める活動と並行し、環境保全やリサイクルの推進に取り組んでいます。1990年、組合員による牛乳パック回収ボランティア活動が広まり、社会を動かす運動に発展しました。2004年には事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>の削減に向けた自主行動計画を作成し取り組みを開始、2013年5月には環境・エネルギー政策を策定し、組合員参加型の取組みや再生可能エネルギーを活用した地域活性にむけ、地域と連携を行っています。



### リサイクル推移

宅配商品の配達時や、店舗の店頭で飲用パック等の自主回収を行い資源の有効活用を行っています。リサイクルの取り組みがより浸透し、定着しているよう情報発信とリサイクル活動を継続しています。

項目	回収形態	回収実績量 (t)					再生品
		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
飲用パック	支所・店舗	114.6	108.0	99.7	94.8	99.7	コアシムロール
たまごパック	支所・店舗	50.5	50.4	46.6	46.5	47.8	たまごパック
発泡トレイ	支所・店舗	22.2	22.0	20.9	20.4	20.8	トレイ
透明トレイ	店舗	4.3	4.1	3.9	4.9	5.2	トレイ
シッパー内袋	支所	59.2	55.4	39.8	58.4	54.5	再生フィルム、文房具
チラシ類	支所	4,233	4,296	4,319	4,386	4,681	チラシ
ペットボトル	店舗	27.6	30.3	46.3	26.7	24.5	プラスチック原料
合計		4,511.4	4,566.2	4,576.2	4,576.2	4,933.5	

### マイバック等の持参率は88.3% (14年度の実績)

生協ひろしまでは広島県におけるマイバック等の持参とレジ袋削減推進に関する協定に基づき、各店舗においてマイバックの持参とレジ袋の有料化に取り組んでいます。現在、マイバック等の持参率は83.3%となっています。また、レジ袋有料化による収益金を活用し、大野支所の照明設備をLED照明に変更しました。



▲レジ袋の有料化が定着

▲大野支所のLED照明

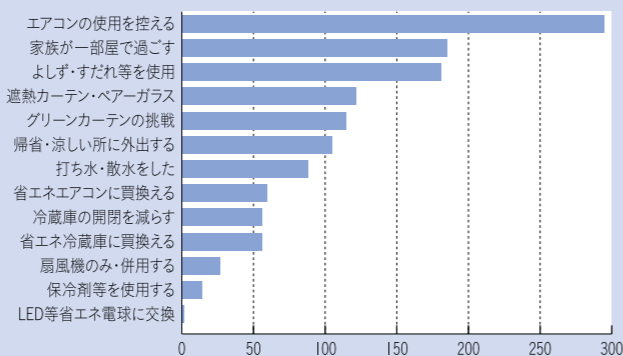
### 省エネの見える化

生協ひろしまでは組合員参加による「暑さ対策トライアル」を実施し、省エネの見える化と情報提供を行っています。2014年度は434世帯が参加、昨年比110世帯増加しました。オール電化住宅やファミリータイム契約、省エネ設備として太陽光パネルの設置が増加しています。

年度	参加数 (世帯)	年齢 (歳)	世帯人数 (人)	給湯のエネルギー種別			省エネ設備	
				電気	ガス	灯油	太陽光	太陽熱
2010年	479	49.3	3.34	29.4%	61.6%	9.0%	6.9%	6.1%
2011年	441	49.4	3.36	33.1%	57.8%	3.9%	9.8%	3.9%
2012年	463	53.3	3.47	37.1%	49.7%	8.4%	12.5%	3.0%
2013年	324	52.5	3.28	38.0%	43.8%	10.5%	14.5%	1.9%
2014年	434	52.2	3.19	33.9%	52.1%	9.4%	12.2%	3.2%

### 省エネ行動が変化

近年の猛暑によりエアコンの使用率は横ばいとなっていますが、家族でひとつの部屋に集まって過ごしたり、商店街など身近な場所に集まって過ごすクールシェアが増加しています。



## 事業活動による環境負荷の削減

生協ひろしまでは事業活動で排出されるCO<sub>2</sub>の削減に向けた自主行動計画策定し、各事業所で省エネ運用マニュアルを作成し削減に取り組んでいます。

### 事業活動によるエネルギー資源の投入

電気使用量を2.6%削減しました。

項目	使用量	単位	前年対比
電気	20,698	千kWh	97.4%
都市ガス	23,617	m <sup>3</sup>	109.9%
LPガス	41,007	m <sup>3</sup>	117.1%
水道	75,427	m <sup>3</sup>	101.3%
灯油	776	ℓ	82.8%
車両(軽油)	691,829	ℓ	94.4%
車両(LPG)	55,235	ℓ	82.9%
車両(ガソリン)	223,322	ℓ	101.6%
注文書等商品案内	8,921	t	101.6%
シッパー内袋	149	t	102.3%
レジ袋	4.5	t	100.0%
トレイ	12.6	t	126.0%
ラップ(インスタアール)	8.3	t	110.7%
ドライアイス	1,952	t	89.0%



### 排出物の発生量

CO<sub>2</sub>は105.6%の増加。

項目	発生量	単位	前年対比
CO <sub>2</sub>	11,673	t-CO <sub>2</sub>	105.6%
プラスチック類	40	t	96.6%
可燃ごみ	104.5	t	91.0%
生ごみ	85.4	t	100.4%

※新たな事業所(生産加工センター)が加わったことでCO<sub>2</sub>排出量が増加。

### エコアラームでピーク電力を削減

契約電力が高圧の事業所に最新のデジタル表示のエコアラームを設置し、ピーク電力の削減に取り組みました。最高気温の予想が34℃を超える時には前日までに各事業所への注意喚起のメール送信、ピーク電力について職員の意識を高めたことなどにより、該当17事業所の内16事業所で前年のピーク電力を下回り、17事業所計で146kWの消費電力の削減ができました。



## 環境会計

環境保全の活動を効果的に推進するため、環境負荷や環境保全の費用と効果の把握を行っています。

### 環境保全コスト

主な取組み内容	(単位:千円)			
	12年度	13年度	14年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	3,414	2,629	3,687	125.9%
飲用パック等の自主回収	1,196	500	231	46.2%
事務系紙類、機密書類等のリサイクル	2,023	1,004	441	43.9%
生ごみ、廃食油、魚残渣のリサイクル	5,324	5,235	5,280	100.9%
一般・産業廃棄物の処理・処分	29,611	27,609	27,379	99.2%
再商品化委託料	5,751	3,860	3,437	89.1%
合計	50,204	44,022	40,455	98.4%

### 経済効果

効果内容	(単位:千円)			
	12年度	13年度	14年度	前年対比
ダンボール、ペットボトル、発泡スチロール等のリサイクル	8,002	5,768	6,990	121.2%
商品カタログ 飲用パックのリサイクル	20,932	19,738	38,547	195.3%
レジ袋使用削減分	10,443	11,735	10,579	90.0%
再商品化委託料削減分	8,071	7,118	9,041	127.0%
合計	47,448	44,359	65,157	146.9%



## 食

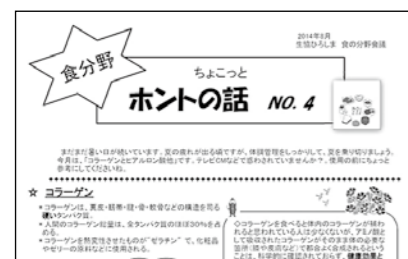
食の安全・安心は組合員の願いです。生協ひろしまでは2012年「食の安全・安心に関する総合政策」を策定しました。暮らし全般にわたる食の安全・安心、リスク分析の導入、正しい情報の提供、食をめぐる状況変化への対応の4つの視点についての、学習会や生産者との交流を行っています。また、家族で「食」の大切さを学ぶ食育活動や、県内の農業活性化と自給率向上に向け、地産地消の活動も推進しています。

### 食の安全・安心をテーマにした学習会を開催

「食の安全・安心」について組合員が関心のある身近なテーマの学習会、意見交換の場を設けています。



▲各地で食に関する学習会を開催 ▲食品表示についての学習会を開催



組合員が構成する「食の分野」ではニュース「ちよこつとホントの話」を発行し、食についての情報提供を行っています。

▲遺伝子組み換え食品や放射性物質の残留など食の安全についての情報提供をおこないました。

### 食と農の大切さを学びました

産地見学や農業体験、生産者との交流会を企画し、家族で食の問題や地産地消の大切さを学ぶ場を提供しています。



▲田植え交流会の様子、収穫まで交流取りは行われます ▲天然スイーツ交流会で、ぶどうのもぎ取りを体験



▲トマトの植え付け、とうもろこしのもぎ取りを体験 ▲「生協産直たまご」の生産者との交流会



### 県内農業の活性化

「広島県農業生産者支援制度」の募集と表彰を行い、県内農業の支援と活性化に取り組んでいます。



▲応募の中から表彰者が選ばれました ▲表彰された生産者のみなさん

### 新産直政策を策定

生協ひろしまの「産直」とは生産者と消費者を結ぶ「産地直結」を意味します。消費者と生産者が交流し、意見交換を行いながら、産直商品の安定供給と産直事業の発展を目指し取り組んでいます。2014年度、産直の定義を明確にした新産直政策を策定し、産直マークも一新し、統一しました。



- 産直3原則
- ① 生産者・産地が明確であること
  - ② 栽培方法・肥育方法が明確であること
  - ③ 組合員と生産者が交流できること

### 県内7会場で生産者との交流会を開催

日ごろ利用している商品のメーカーや生産者のみなさんと交流し、意見交換を行いました。



▲生産者交流会(東北)で生産者に質問する組合員さん

### メーカーや取引先との学習と意見交換

取引先(虹の会)が集い、定期的に学習会を開催しています。



▲アレルギーについての学習会

## 子育て支援・福祉

子育てや子どもをめぐる環境が厳しくなるなか、安心して子育てができる環境づくりと支援を目的に新たな子育て支援サービス「ちゆきちゆきCLUB」を始めました。また社会保障制度においてはより自助を求める制度の改革が行われようとしています。地域のつながりが薄れ、孤立化の進む中、地域住民同士の共助や互助の取組みが求められています。生協ひろしまではくらしの助けあい活動と福祉事業が連携した新たな福祉サービスの開始をめざして取り組んでいます。

### 子育て支援

#### ◆新たな子育て支援サービス「ちゆきちゆきCLUB」

妊娠中からお子様がいっぱいになるまでの組合員さんを対象に配送手数料が1年間無料、生協ひろしまの人気商品をプレゼントなど子育て中のママを応援するサービスを開始しました。



▲14年度は14,501名の登録がありました

#### ◆広島県の子育て応援サービスと連携

広島県の「子育て応援いっしょちゃんサービス」と「ちゆきちゆきCLUB」が連携した取り組みも行われ、情報交換や学習会などが開催されました。



▲連携した取組を継続していきます

### 福祉

#### ◆くらしの助けあい

くらしの助け合いは生協ひろしまの組合員同士が日常のくらしをお互い様の気持ちで助けあう活動です。14年度の活動に参加された組合員は1,143人、日常生活のお手伝いなどの活動した時間は7,625時間でした。



▲家事援助を行なう組合員さん

#### ◆認知症サポーター研修

認知症に対する知識と理解を深めるため、各地域で認知症サポーター研修会を開催しました。実際にあった事例や、どのようなサポートができるかなど交流しました。今後も研修会を開催し、地域に認知症サポーターを増やしていきます。



▲福山市で行われたサポーター養成研修



#### ◆子育てセミナーを開催

「ちゆきちゆきCLUB」会員を対象に「子どもの救急時の対応学習会」を開催しました。セミナーにはイクメンパパの参加も多数ありました。



▲2014年度はセミナーを2回開催しました

#### ◆ちびっこ広場

店舗ではお母さんや子ども同士のコミュニケーションスペース「ちびっこひろば」を定期的に開催。2014年度は73回開催し824名の方の参加がありました。



▲お母さん同士の交流の場になっています

#### ◆だれもが集える場「寄ってこ一家」

だれもが気軽に集え、コミュニケーションが広がる地域の居場所づくりに取り組んでいます。14年度は5会場、274回の開催、645人の方が参加されました。



#### ◆障がい者支援募金・国会への請願署名に取組みました

きょうされん広島支部に600,000円、選考された障害者団体の23施設に1,971,018円の支援募金を贈呈しました。障害者福祉についての法制度拡充に関する国会請願署名には12,983筆の協力をいただきました。



#### ◆フードバンク団体へ協力

広島市内の5店舗から年間1.4tをフードバンク団体へ提供しました。食品はNPO法人「あいあいねっと」を通じて高齢者の食事のサポートなどに活用されています。





## 《 地域・社会貢献》

地域社会の期待や要請に応え、地域の健全な発展につながるよう、地域社会とのコミュニケーションが図れる場に積極的に参加しています。地域の防災、防犯活動や災害発生時の応急・復旧活動、環境活動、福祉活動、ボランティア活動等にも参加し、地域社会に貢献していきます。

### ■ 広島豪雨土砂災害支援

2014年8月20日未明に発生した豪雨による土砂災害で、74名の尊い命が失われました。生協ひろしまでは広島市をはじめ、県内6つの自治体と2つの自主防災会連合会と防災協定を結んでいます。今回の災害においては、安佐南区、安佐北区からの要請に応じ、飲料水や食料など緊急支援物資の提供を行いました。



▲広島市安佐南区八木地区



▲安佐北区高陽地区との調印式

### ■ 各自治体との防災協定

自治体	協定名称	協定の内容
広島市	災害時における食料・生活必需品の緊急調達及び供給等に関する協定	災害時の物資供給
尾道市	災害時における支援協力に関する協定書	災害時の物資供給および輸送業務
呉市	災害時における応急生活物資の供給に関する協定書	災害時の物資供給
三次市	災害時における支援協力に関する協定書	災害時の物資供給および輸送業務
東広島市	災害時における生活関連物資の供給等に関する協定書	災害時の物資供給
三原市	防災協力協定書	災害時の物資供給
安佐南区	災害時における「広島市安佐南区自主防災会連合会」と「生活協同組合ひろしま」との連携・支援協定書	災害時の商品提供と集会室利用
安佐北区高陽地区	災害時における「広島市安佐北区高陽地区自主防災会連合会」と「生活協同組合ひろしま」との連携・支援協定書	災害時の商品提供と集会室利用



▲被災地でのボランティア活動



▲被災した地域のみなさんと土砂や瓦礫を撤去



▲行政の求めに応じ、支援物資を届けました



▲避難所への訪問活動



▲災害翌日から募金活動を開始



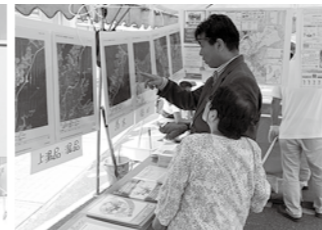
▲募金は広島市を通じて被災者支援に活用されました

### ■ 家族で学ぶ防災教室を開催

突然の大地震や豪雨などの自然災害の被害を軽減するためには、地域住民一人ひとりの日ごろの備えが重要です。広島県と協力し、体験を通じて学ぶ防災教室を開催しました。



▲8.20広島豪雨と同じ雨量を体験



▲自宅周辺の状況をハザードマップで確かめる参加者

### ■ 東日本大震災支援

東日本大震災から4年、いまだに8万人の被災者が仮設住宅で不自由な暮らしを強いられ、被災した方々の暮らしは厳しい状況が続いています。生協ひろしまでは2012年より、被災者を元気づけるため、被災した3県の仮設住宅に広島お好み焼き隊の派遣を継続しています。



▲被災地の仮設住宅でお好み焼きを振る舞いました



▲被災者のみなさんと一緒に歌を歌いました

### ■ 広島の名産に温かいメッセージを添えて

東日本大震災で被災した3県の仮設住宅のサロンに生協ひろしまの組合員からのメッセージを添えて毎月、広島の名産を贈る取り組みを行いました。



▲被災地のサロンへ広島の名産を贈りました

### ■ 被災地を忘れない取組み

広島土砂災害の被災者を元気づけるイベント「復興マルシェ」に東日本大震災で被災した「みやぎ生協」の組合員さんと参加。宮城の郷土料理を振る舞いました。



▲広島と宮城の被災地の絆が強まるイベントとなりました

### ■ 3.11を忘れない

東日本大震災から4年、震災の風化は復興の遅れにも直結します。「3.11東日本大震災を忘れない追悼の集い」に参加し、震災でお亡くなりになった方のご冥福と被災地の一日も早い復興への祈りを捧げました。



▲2時45分参加者は被災地に向けて黙とうを捧げました

### ■ 地域の見守り

庄原市総領町の自治振興区と社会福祉協議会とが共同で推進する高齢者の見守り事業「総領おたがいさまネット」、三次市社会福祉協議会からの要請のあった「三次市見守り・SOSネットワーク事業」へ参加。配送業務中の見守り活動を行います。



▲見守り活動を地域に広報するパンフレット



▲子ども110番として見守りの活動を行っています



▲夕食宅配ではお弁当の配達時に見守り活動を実施

### ■ 移動店舗を展開

移動店舗(ぶちこーぷ)は現在4台が稼働、拠点となる各店舗から佐伯区、廿日市市、安佐南区、東区方面へ週266カ所を巡回し、お買い物が不便な地域への支援を行っています。今後も地域と連携し巡回ポイントの拡大に取り組んでいきます。



▲現在、4台が稼働している移動店舗(ぶちこーぷ)



▲コープ商品をはじめ600点以上のアイテムを取り揃えています

### ■ お買い上げ配送サービス

お買い物していただいた商品をご自宅までお届けするお買い上げ配送サービスをコープ高陽・温品・焼山・矢野東・安東の5店で実施。「重たい商品など届けてもらえ、助かった」など喜んでいただいています。



▲お買い上げいただいた商品をご自宅までお届けします



▲コープ温品をはじめ現在5店舗でサービスを実施しています



## 《 平 和 》

被爆70年の今年、NPT再検討会議がニューヨークで開催されました。核兵器禁止条約を締結させ、戦争も核兵器もない世界を実現していくためには、被爆の実相を広く伝えるとともに、その継承活動が重要となります。生協ひろしまはヒロシマにある生協として全国へ、そして世界に核兵器廃絶の願いを発信し続けていきます。

### ■ 次世代への継承

#### 部署長を対象にしたフィールドワークを開催



▲シューモアハウスを訪れ、被爆から復興までの歴史を学びました

職員自らが核兵器廃絶の重要性を学び、主体的に平和活動を進めていくための学習会を開催しました。

### ■ 子ども碑めぐり

子どもたちが自ら平和を学び、自分の言葉で発信する継承活動「子どもによる子どものための碑めぐり」を開催。県外から訪れた子どもたちと平和について交流しました。



▲子ども達同士の活発な意見交換が行われました



▲子ども碑めぐりガイドと全国から集まった子ども達

### ■ ピースナイターを開催



被爆からの復興のシンボルである広島東洋カープと共に、ピースナイターを開催し全国に平和の大切さを発信しました。2014年で7回目となるピースナイターは市民の平和イベントとして定着しています。



▲始球式は父親を原爆で亡くしたカープOBの山本一義さんが行いました



#### 「戦争も核兵器もない世界を」市民の集いに参加

企業や市民団体などの垣根を越えて市民が集い、核兵器廃絶にむけ市民レベルで連帯を強めました。



▲被爆者の体験を熱心に聴く参加者



▲被爆者の平均年齢は80才を超えています

### ■ 折り鶴昇華再生事業

平和公園内の原爆の子の像に日本国内のほか世界各国から寄贈される折り鶴を再生原料に、カレンダーや名刺などに再商品化し、平和の願いや想いを継承する事業を行っています。



▲原爆の子の像には年間10トンの折り鶴が寄せられています



▲組合員ボランティアによる折り鶴解体作業

### ■ 市民平和行進

県内5カ所で市民平和行進を行い、平和の大切さと核兵器廃絶を訴えました。行進は昨年より1コース減りましたが、参加者は増加しました。



▲8月4日平和公園に向かう行進団



福山市 東広島市 三次市 廿日市市

## 《 事業紹介 》

### ■ 無店舗事業

供給高328億7,527万円  
週に一度注文していただいた商品をトラックでお届け。配送センターを県内17箇所に配置。毎週約14万世帯のご家庭に食品、生活用品をお届けしています。



### ■ 店舗事業

供給高92億8,982万円  
広島市内に7店舗、呉市内、福山市、東広島市にそれぞれ1店舗の計10店舗を展開。コープ商品や地産地消商品を多数取り揃えています。移動店舗車両も4台が稼働し、配送を行っています。

### ■ 福祉事業

総収入12億962万円  
訪問介護、居宅介護、デイサービス、小規模多機能型居宅介護などを通じ、利用者に寄り添った福祉事業を目指しています。

### ■ 共済事業

加入者数 219,838件  
ケガや病気、災害など組合員のくらしの「もしも」を保障するコープ共済。組合員同士の助け合いの心を形にしています。



### ■ 夕食宅配事業

利用食数 2,400食  
高齢や病気などで食事づくりが困難な方向けに「おもいやりコープ弁当」のサービスを展開。健康を意識したメニューでお届けしています。ボリュームと栄養バランスを兼ね備えた「雅コース」が人気です。



## 子 会 社

### ■ コープサービス(株)

売上高 2億7,752万円  
映画やコンサートチケットの販売や旅行事業、保険事業、葬祭事業など、食品や雑貨品以外のくらしに関わるサービスを行っています。

### ■ コープハウジングひろしま(株)

売上高 9億409万円  
顧客が求める理想の暮らしを実現する住まいを提供し、社会に貢献できる企業を目指し、「住」に関わる事業を展開しています。

### ■ (株)ハートコープひろしま

売上高 1,638万円  
生協ひろしまで取り扱う農産品などの仕分けや検品を行っています。知的障がい者の方に働く場を提供するため特例子会社の認可を受けています。

### ■ (株)ハートランドひろしま

売上高 2,029万円  
ほうれんそうや小松菜などを栽培し店舗へ出荷。指定障がい福祉サービス事業所として障がいがある人の社会参加も進めています。

### 新聞で紹介された生協ひろしまの取組み (2014年度新聞記事)

5月5日	碑めぐりガイドの会	中国新聞	8月6日	虹のひろば	毎日新聞
5月24日	核廃絶 合同平和集会	中国新聞	8月6日	虹のひろば	産経新聞
6月11日	あきらまん田植え交流会	日本農業新聞	8月26日	広島市土砂災害募金	中国新聞
6月12日	決算発表	中国新聞	9月3日	コープ安東でカープ応援米を試食フェア開催	日本農業新聞
6月13日	移動販売や注文宅配拡充	日経新聞	10月9日	災害と生協	中国新聞
7月29日	ピースナイター	中国新聞	11月5日	折り鶴カレンダーに再生	中国新聞・朝日新聞
7月31日	ピースナイター	中国新聞	11月21日	広島米コンテスト	日本農業新聞
7月31日	ピースナイター	朝日新聞	2月13日	広島米コンテスト入賞品店舗で試食	日本農業新聞
7月31日	ピースナイター	読売新聞	2月19日	誕生30周年感謝まつり告知	朝日新聞
7月31日	わが社の成長戦略	日本食糧新聞	2月20日	誕生30周年感謝まつり告知	中国新聞





生協ひろしま

## CSR Report 2015

発行：2015年7月  
発行者：生活協同組合ひろしま  
〒739-0495 広島県廿日市市大野原一丁目2-10  
問い合わせ先：総合企画部  
TEL 0829-50-0543 FAX 0829-50-0352  
URL <http://www.hiroshima.coop>  
E-mail [hcoop@mail.hiroshima.coop](mailto:hcoop@mail.hiroshima.coop)